

「孫の手」 今までとちょっと違います



左の写真が新作の「孫の手」。どこが違うかわかりになりますか。体に当てる部分から約10cmのところできゅっと曲がっていますね。

この曲がり具合が絶妙で、とっても気持ちよくかくことができました。みなさん

も試されてみてはいかがでしょうか。

竹を切っていたMさん。それまでは鋸のところをしっかりと見ていたのですが、シャッターを押す瞬間に顔が上がりました。Mさんの笑顔もいいのですが、そのタイミングが何ともいえませんでした。

「お主、なかなかの者じゃのう」



西区「花のあるまちづくり」協賛 竹ポット作り



昨年からはまった西区の事業で、花園校区、池田校区など5つの校区に配布される竹ポットを作っています。左の写真は今年度のものですが、フックをつけて下げたりするポットや地面に置くポットです。主に、コミセンや掲示板など公共の施設等で使われています。

竹はご近所からいただけてきます。丸のこで切断した後、Kさんは竹をなたで割って、ポットの口を作っています。Nさんはその後の工程で、竹の節を金槌でたたいて落としています。これは二節のプランターになります。



今年度は、昨年度の半分以下の数量ですが、花心の受注作業として請け負って取り組んでいます。もちろんタダではありません、西区の予算がついていますので収入となります。

「私はやさしい」

11月もあと1週間を残すところとなり、日中でもかなり冷え込んできました。この花園は、下界(?)よりもちょっと寒いようで、暖房なしではちょっと厳しい日も出てきました。そんなある日のMさんとの会話。Mさんが両手を差し出してハイタッチ。

Mさん「(私の手は) あたたかい」

私 「手が温かい人は心が冷たいってよ」

Mさん「わたしはやさしい！」

Mさんには大変失礼なことを言いましたが、すばらしい切り返しでした。確かに、いつも笑顔で話してくれてやさしい方です。

はなそのの方はみなさんやさしいですよ。FさんやIさんは、お昼からほぼ毎日、コーヒーやお茶を煎れて持ってきてくれますし、Mさんは事務室の中に入ってあいさつをしてくれますし、Iさんはいつも慰めてくれます。そんなやさしい気持ちを、私たち職員は大切にしていかななくてはと思いました。